JOURNAL OF KYOTO PRINTING INDUSTRY ASSOCIATION VOL.659

京都府印刷工業組合

盛夏号
SUMMER ISSUE

京印季報
Kyoinkiho

2022 SUMMER

Special Contents:
夏季特別企画
「組合創始130周年記念式典」
開催報告

illustrated by Minoru GOTO

目次と巻頭言

2022 SUMMER

1　巻頭言／理事長　笹原あき彦
2　令和４・５年度新役員メッセージ
5　令和４・５年度組合組織図・委員会編成
6　夏季特別企画「組合創始130周年記念式典」開催報告
～併催　京都府印刷業界功労者顕彰式・優良勤続従業員表彰式～
12　京都府知事表彰(組合功労者表彰)を受ける
13　令和４年度通常総会開催
14　令和４年度近畿地区印刷協議会定時総会開催
15　ビジネスマナー講座開催
15　飲料自動販売機設置紹介事業・共同購入による燃料給油カード発行事業のご案内
16　各種共済制度等加入促進キャンペーン開催のご案内
17　委員会だより／全印工連対応室
18　組織委員会
18　総務委員会
19　共済委員会
20　支部だより／東山支部
20　会合だより／京都青年印刷人月曜会
21　関連団体だより
22　統計だより／材料価格定点調査
23　組合員NEWS
24　４月・５月・６月定例理事会開催概要
24　事務局からのお知らせ
25　新型コロナウイルス感染症に関する事業者向け支援制度について
25　よしみ散歩 ～印刷会館周辺地域のご紹介～
26　印刷会館利用状況
26　組合日誌
27　組合員異動
27　訃報
27　表紙作画者紹介
27　編集後記

https://kyoinko.jp/

令和４年５月26日に開催されました京印工組通常総会にて、任期満了に伴う理事改選を経て理事長に再任を頂きました。
京都印刷産業の振興発展を担うその任の重さを改めて実感し身が引き締まる思いであります。もとより力不足ではございますが、全力を尽くし業界の構造改善に努め、「Happy Industry」の実現に向けて邁進したく存じます。引き続き組合員皆様からのご理解ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

昨今の情勢を鑑みますと、加速する人口減少、グローバル化の進展、インターネットやデジタル化の技術革新など、社会のあらゆる場面において大きな変化がみられるうえ、未だ収束を見せぬコロナ禍による業績への影響、相次ぐ用紙や資機材の値上がり等、より厳しい現実が立ちはだかるなかではありますが、これら社会の流れに適切に対応し、持続可能な経営の一助となる組合事業を展開する所存でございます。
中でも、組合員皆様の「下支え的」な支援が主となる労務、環境、厚生、教育各事業の充実はもちろんのこと、経営改善事業、全印工連対応室では「すきま的」な特化した技術・経営の研究を加え自社の強みを活かすことに今まで以上に力を注ぎたく思っております。

末筆ではございますが、周年式典と顕彰表彰式を無事成功裏に終えることが出来ました。これも偏に組合員皆様のご理解ご協力の賜物でございます。厚く御礼申し上げますと共に、被顕彰表彰の皆様には心からお祝いを申し上げ、巻頭のご挨拶とさせて頂きます。

京都府印刷工業組合
理事長　笹原あき彦

夏季
特別企画

「組合創始130周年 記念式典・祝賀パーティー」

変化に未来を求めて～変化から始まる新しい京印工組～

併催：第47回 京都府印刷業界功労者顕彰式・第60回 優良勤続従業員表彰式

記　録／**広報委員会**
記念式典を了えて／理事長・実行委員長　**笹原あき彦**

令和４年６月25日(土)午後３時30分よりウェスティン都ホテル京都に於いて、上記式典が組合員等222名の出席により盛会裡に開催されました。計画当初から開催までをレポートします。

日　　時　令和４年６月25日(土) 午後３時30分
場　　所　ウェスティン都ホテル京都

開催までの道のり

始まりは約４年前の平成30年８月17日(金)、当時の中西隆太郎理事長(現顧問)をはじめとする執行部役員が中心となり実施した「組合創始130周年記念事業検討会議」において、あらためて組合創始の起点を検討。当組合が発行した「京都印刷一千年史」(昭和45年10月発行)において、明治24年に豊島方正氏が発起人となり印刷業者の申合組合の設立を提議したのが当組合の原点と記されていること、組合創始120周年記念事業として平成22年５月24日(月)に「京都印刷発祥の地記念碑」の建立を行なったこと等を鑑み、明治24年を組合創始の起点とした本事業を企画・開催する事を取り決め、９月定例理事会にて提案のうえ了承を得た。

以降、検討会議(執行部会議)を重ねる中でテーマ(変化に未来を求めて ～変化から始まる新しい京印工組～)、日程(令和３年５月29日(土))等を順次取り決め、令和２年９月15日に第１回実行委員会を編成のうえ開催。以降、三つの事業部会(広告募集・周知案内部会、式典・パーティー部会、記念誌・プログラム作成部会)を展開する中で実施要領の詳細を順次取り決めていった。

その間、本式典の統一デザインコンペを選定するに当り、組合員・賛助会員・パートナーシップ会員を対象としたデザインコンペを実施したところ、５社８作品のご応募があり、厳選な選考の結果、有限会社森田美術印刷様の作品がグランプリに選出された。

ここまで開催に向けて順風満帆であったが、いよいよ開催１か月前となった令和３年４月の定例理事会開催日当日(4/21)、新型コロナウイルス感染症拡大にともない京都府においても緊急事態宣言発令の要請を行うと報道され、慎重に協議を行ったところ、参加者・関係者の皆様への感染予防の観点から止む無く延期することを取り決めた。

延期の決定を受け、令和３年５月12日(水)の実行委員会において、新たな開催日を令和４年６月25日(土)に決定した後、令和３年９月より記念誌・プログラム作成部会を再開し、昭和45年より令和３年までの組合活動を抄録した「50年のあゆみ」等を編纂した「組合創始130周年記念誌」を11月30日に発刊した。

令和４年１月より実行委員会の活動も再開し、以降、毎月理事会後には必ず協議を行うとともに、６月１日(水)には会場下見と料理試食、６月17日(金)には司会者の沖薫氏を招き、実行委員会、式典・パーティー部会、厚生委員会合同による最終打ち合わせを行い、万全を期して当日の運営に臨むこととなった。

組合創始130周年記念式典

記念式典

６月25日（土）の式典当日、午前11時より執行部役員、12時・14時より事業部会役員・委員が集合し、各々の持ち場で打ち合わせやリハーサル等を行ない、来場者を迎える準備を整えた。

定刻の午後３時30分、司会者沖薫氏の進行により式典が始まり、一同起立のうえ「君が代」を斉唱、続いて業界物故者への黙祷を捧げた。

一同着席の後、笹原理事長・実行委員長が開式の辞を述べた後、ご来賓の方々を代表して、京都府商工労働観光部部長の上林秀行氏、京都市長の門川大作氏より丁重なご祝辞を頂戴した後、司会者より、時間の都合でご祝辞を頂くことができなかったご来賓の方々の紹介が行われた。

次に、組合創始130周年記念表彰が行われ、初めに業歴130年以上組合員６社の社名と創業年が読み上げられた後、出席された３社の代表者に笹原理事長より表彰状が授与された。続いて歴代理事長３名の氏名が読み上げられた後、出席された３名に笹原理事長より感謝状が授与された。続いて歴代事務局長２名の氏名が読み上げられた後、出席された１名に笹原理事長より感謝状が授与された。

事前ミーティング

祝辞を述べる京都府商工労働観光部長の上林秀行氏

開式の辞を述べる笹原理事長

祝辞を述べる京都市長の門川大作氏

次に、京都府印刷業界功労者顕彰式が行われ、初めにコロナ禍により式典を行えなかった２年度・３年度受賞者の紹介が行われた後、本年度の被顕彰者６名の氏名が読み上げられ、出席された３名に笹原理事等より顕彰状が授与された。

続いて、本式典の場をお借りして京都府知事表彰・組合功労者表彰の授与式が行われた後、優良勤続従業員表彰に移った。初めにコロナ禍により式典を行なえなかった２年度・３年度受賞者の紹介が行われた後、京都府、京都市、亀岡市、京都府中小企業団体中央会、京都商工会議所、組合理事長の表彰区分毎に被表彰者の氏名がスクリーンに投影されるともに、表彰区分毎の代表者１名に賞状が授与された。

次に、受賞者を代表して顕彰受賞者の中西隆太郎氏が丁重に謝辞を述べられた後、組合創始130周年記念事業デザインコンペ受賞者の報告が行われた。

続いて、当組合の組織対策事業、並びに環境対策事業の一環として作成した「オリジナルエコバッグ」の贈呈式が行われ、笹原理事等より、京都府商工労働観光部長の上林秀行様、京都市長の門川大作様にエコバッグの授与が行われた。

最後に、内藤副理事長・実行委員が閉式の辞を述べ、滞りなく記念式典を了えることとなった。

顕彰状

閉式の辞を述べる内藤副理事長

受賞者を代表して謝辞を述べる中西隆太郎氏

記念誌(左)とプログラム(右)

祝賀パーティー

小憩の後、午後５時より祝賀パーティーの開始となり、初めに印刷産業、並びに当組合の組織の変容を一つのストーリーに取りまとめたオープニング映像が投影された後、笹原理事長より、「私たち、京都府印刷工業組合員は、これからも『印刷』が社会から必要とされ魅力あふれる産業として継承されるように、新たな付加価値の創出に取り組み、私たちの産業が未来永劫に発展を続けることをここに宣言します」と力づよく未来宣言が発せられた。

次に、宮川町湊家の皆様による祝舞「寿三社」の披露が行われた後、ご来賓を代表して、京印工組顧問・参議院議員の西田昌司氏、全印工連会長の滝澤光正氏より丁重なご祝辞を頂戴した。

続いて、令和２年春の叙勲において旭日双光章を受章された組合顧問・瀧本正明氏のご紹介が行われた後、京印工組顧問・京都市会議員の津田大三氏の乾杯発声により祝賀パーティーは賑々しく始まった。

令和元年５月に開催した顕彰・表彰式以来の大きなイベントとなった本式典・祝賀パーティーでは、感染症予防に極力配慮した中で交流・懇親が行われ、祝電披露も了えた午後７時頃、組合員事業所の若手従業員による印刷業界の現状と課題の分析、そして未来に向けた明るく力強い宣言が収録されたクロージング映像が投影され、祝賀パーティーは盛況理に了えることとなった。

祝舞「寿三社」

祝辞を述べる参議院議員の西田昌司氏

祝辞を述べる全印工連の滝澤光正氏

祝賀パーティー

お見送り